

たきおおがみ い せき とう わちよういさ ざ しょ ざい かまいしせん  
滝大神 | 遺跡は花巻市東和町砂子に所在し、JR 釜石線

はれやまえき ひょうこう は  
晴山駅の南約 2.6km、標高約 170m で南から北西へ張り出  
す丘陵北端の微高地上に立地し、遺跡の東～北側には毒沢  
川の支流・滝川が北西に向かい流れています。

ほんい せき しゃこ けんせつ ともな はつくつちようさ  
本遺跡は平成 12～13 年に車庫建設に伴う発掘調査が  
行われ、主に縄文時代晩期～弥生時代初頭 (約 3,000～  
2,000 年前) にかけての多量の土器が出土し、また県内で  
も数少ないこの時期の竪穴住居跡が 1 棟見つかりました。  
ただし、この住居跡の大部分は調査区外にあるため詳しい  
規模等は不明ですが、検出状況からみて直径 4～5m 程の  
円形～楕円形のものと推察されます。

さいきん れいわ じようせい び じぎよう こうざい  
また、最近では令和 4 年にほ場整備事業に伴い、(公財)  
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターによる発掘調査  
も行われています。

縄文時代から  
弥生時代へ移行  
する時期の遺跡  
は市内でも少な  
く、貴重な遺跡  
です。



滝大神 | 遺跡出土遺物 (2000～2001 年出土)